

加賀繡

歴史

室町時代の初期、加賀地方への仏教の布教とともに主に仏前の打敷[うちしき]、僧侶のお袈裟[けさ]など仏の荘厳[しょうごん]飾りとして京都から伝えられた手刺繡の技法である。当初から極めて尊いものとして制作され用いられてきた。

刺繡は、手でもってひと針ひと針仕上げるのと、ミシンでもって仕上げるのと2通りの加工方法がある。加賀繡は、前者である。従って大量生産はできないが、ミシンには出来ないキメ細かい加工や、風合いのある加工が可能であり、これにより伝統産業に相応しい加工製品を製造することが出来る。



特色

加賀繡は、加賀百万石の美と誇りが育んだ指先の繊細で高度な刺繡技術である。金糸・銀糸をはじめ多種多様の絹の色糸を、ひと針ひと針丹念に手で縫い上げて描き出す絵や模様を立体感あふれる美しい図柄で浮かび上がらせるのが特徴であり着物や帯に華やかな表情を持たせてきた。

また、工芸品の幅を広げようと加賀繡を使って表現する絵画(額絵)や傘に和紙や刺繡糸をあしらったルームランプやタペストリーを中心としたインテリアの開発にも取り組んでいる。



加賀繡

歴史與特色

加賀繡是在14世紀中期與佛教同時從京都傳到加賀地區，被用於佛的鋪墊、僧侶的袈裟等佛事相關的裝飾。精美高雅的加賀繡作為繁榮昌盛的加賀藩的一項傳統工藝而得到了發展。

加賀繡是用手工精心刺繡而成，美麗的圖案非常具有立體感。使用了金線和銀線等各種顏色的絲線。除了佛事用具、和服、帶子和掛軸等以外，最近還用於裝飾匾額、室燈、壁毯等室內裝飾。

情報 資訊

主な生産地(主要産地)	金沢市(金澤市)・白山市(白山市)
主な製品名(主要産品名)	帯、訪問着、室内装飾品(帯子、訪問著、室内装飾品)
主な生産者(主要生産者)	石川県加賀刺繡協同組合(石川縣加賀繡協同組合) 〒920-0367 金沢市北塚町西66-1(金澤市北塚町西66-1) TEL (076)227-8701 FAX (076)227-8705 http://www.kaganui.or.jp/